



「政策形成能力の強化」

～地域問題解決の実践的政策形成力の強化～

■ ねらい

- 政策形成の考え方・進め方・手法を習得し、地域問題を解決する効果的、実現性の高い政策形成能力の開発・強化を図ります。

■ 対象

- 中堅職員

■ 目標とする成果

- ①地域問題の探索、発見から課題設定までのプロセスについて理解します。
- ②成果目標（アウトカム）と活動結果（アウトプット）の差異と関係を理解し、成果志向の政策形成の考え方、進め方を習得します。
- ③地域問題解決策を立案し、その発表と質疑応答を通じて、実践的な政策形成能力を習得します。

■ 進め方の特徴

- ①事前課題を実施します。（個々人が地域の問題設定と事業案を策定）
- ②講義と個人演習、グループ演習で基本的理解の促進を図ります。
- ③事業戦略、マーケティング手法を政策形成に活かします。
- ④グループ演習と発表により、情報の整理、表現、共有のコミュニケーション能力の強化を図ります。

[使用テキスト]



※著者が講師を担当します
 地域が主体となって取り組むまちづくりにおいて、その成果実現に大きく影響するのが“政策形成”をいかにマネジメントするかです。しかし、多くの自治体職員は自ら地域課題を見極め、地域の特性・実情に適した対策を立案し、その実施を通じて、地域の問題解決を実現する機会が多いとは言えませんでした。

本書は‘政策形成に慣れていない自治体職員’を対象に、地域の問題解決を実現するための政策形成マネジメントの入門書です。

【第1編：政策形成実践への入門編】

- I. 求められる自治体職員の政策形成能力
- II. 政策形成で重視すべきこと
- III. 政策形成の進め方
- IV. 政策形成と住民参画・協働
- V. 政策形成をマネジメントする能力

【第2編：政策形成をマネジメントするためのスキル・手法編】

- VI. 問題を解決するスキル
- VII. 問題分析、課題設定に活かす手法
- VIII. 対策立案に活かす手法
- IX. ステークホルダーをマネジメントするスキル
- X. ステークホルダーマネジメントに活かす手法

【第3編：政策形成の基礎知識編】

- XI. 政策形成に関する知識
- XII. 政策形成マネジメントに活かす知識
- XIII. 地域主体による政策形成に関する知識
- XIV. 政策形成における課題